

5 Expanding research across disciplines

研究を学際的に展開したい

第24回

「議論の十字路、百万遍」

百万遍談議

かつて百万遍周辺の喫茶店では、「読書会」と称して、違う分野の学生が集まってひとつのテーマで議論をする姿がしばしば見られました。コーヒー1杯で数時間いても店の人は気にもせず、ひたすらコップにお水をついでくれたものです。
あるいは「下宿」に集まってなされた議論は、同じ下宿の他学部の人だけでなく、他大学の学生も加わって、それこそ朝まで延々と続けられたというのが茶飯事でした。

最近ではコロナの影響もあり、学生同士の議論というものが影をひそめているように思います。加えてそもそも喫茶店自体がどんどん少なくなっています。
そこで、往時に盛んであったそんな議論の場を、「百万遍談議」として復活させようという思いから、このような企画が作られました。参加資格は、京都大学の学部学生であれば、学部や学年は問いません。

授業ではありませんので、なにかこうしなければいけないという義務はなく、単に興味があるから参加して、人の話をきき、自分の考えを述べる。それだけです。
毎回のテーマに関して、なにか知識が必要ということはありません。唯一お願いするのは、毎回提示される文章をともかく読んでくること、それだけです。
また、「議論」はしますが、なにか結論を導こうとして話をするわけではありません。テキストを読んで思ったことを自由に話してもらえばいいわけで、もちろんその場で誰かの発言をきいて思いついたことを話しても結構です。

「人はこんなことを考えているんだ」ということを知るだけでも楽しいですし、さらには、自分の考えを人にきいてもらうことの楽しさも、大学生に与えられたある種の特権です。
気軽な気持ちで参加してください。
いろいろな人と人、人と言葉あるいは考えの出会いが生まれることを楽しみにしています。

開催日時 2025年1月11日[土]15:30-17:00

話題提供者 小仲 美齡 (文学部4回生)

テーマ 「ごみ処理をめぐる負担の所在」

世話人 沼田 英治 (学術研究展開センター 特定教授)

会場 学術研究支援棟 3階会議室

今回は上記のテーマについて、ともに考えてみたいと思います。
テキストは下記QRコードの申込フォームに記載のリンクからダウンロードして読んでください。

対象：京都大学学部学生(正規生) 先着10名 費用：無料 使用言語：日本語

申込方法：下記URLもしくは右記QRコードよりお申し込みください
<https://www.kura.kyoto-u.ac.jp/event/20250111/>



これまでの開催記録はこちら
<https://www.kura.kyoto-u.ac.jp/support/gakusai/dangi/>



主催・お問い合わせ 京都大学学術研究展開センター (KURA) 「百万遍談議」担当 | jinsha@kura.kyoto-u.ac.jp



2025年1月11日
百万遍談議 開催報告

第24回 ごみ処理をめぐる負担の所在

話題提供者

小仲 美齡（文学部4回生）

参加者：3名

[内訳]

4回生3名（文学・農学・総人）

談議メモ

今回は文学部4回生の小仲 美齡さんに「ごみ問題をめぐる負担の所在」をテーマにテキストを執筆してもらい、話題提供をお願いしました。世話人は沼田 英治 教授です。

使用テキストは、ごみ問題をめぐる2人の雑談という形式で書かれています。談議の冒頭では、ごみ問題を通じて「公共」のあり方や公共の場を支える「行政」のあるべき姿についての議論が中心となりました。現在の京都市のみならず、外国や過去の例も参照しつつ、活発な議論がなされました。

後半は映画等に見られる「ごみを捨てる」という行為の「軽やかさ」が話題となり、そこからさまざまな価値基準のあり方についても考察がなされた回となりました。